

オリンピック・パラリンピック2020東京大会に向けた多言語対応協議会終了に伴う対応について

2022年3月30日
多言語対応協議会小売プロジェクトチーム座長
一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会
代表理事 新津研一

表題協議会（以下「旧協議会」）ならびに小売プロジェクトチーム（以下「小売PT」）の活動は、昨年12月20日開催の協議会をもって終了いたしました。東京大会が無観客開催となり、ゲストの笑顔を見られなかったことが悔やまれますが、ご協力により多言語対応ガイドラインなどの成果物を残すことができました。改めて、皆様のご協力を御礼申し上げます。

すでにご連絡の通り、本取組をレガシーとすべく、また、訪日市場回復期に小売業の価値向上に資するべく、先月、観光庁様ご協力のもと、「小売業の訪日ゲスト対応力向上協議会（以下「新協議会」）」が発足いたしました。

これを踏まえ、活動の終了にあたり下記の通り対応を進めてまいります。ご了承いただきますとともに、今後もお参加、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1. 活動報告

(1) 旧協議会の活動報告

- ・ 下記 URL よりダウンロードの上、ご参照ください。

<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/multilingual/council/pdf/houkokusyo.pdf>

(2) 旧協議会小売PTの活動報告

① 本年度の報告

- ・ 別紙①をご参照ください

② 総括報告

- ・ 別紙②（昨年12月20日開催協議会での報告資料）をご参照ください。

2. 今後の運営について

(1) 基本的な考え方

- ① 旧協議会小売PTによる知見・知的財産やネットワークは、将来に向けたレガシーとして活用することを目的に、新協議会に引継ぎ、活動を継続する。
- ② 新協議会における活動は、取り組みを多言語対応に限らず、訪日ゲスト対応全般に拡大する。
- ③ 新協議会の小売業事務局業務は、ジャパンショッピングツーリズム協会が行う。

(2) 作成済みのガイドライン、ホームページ等の扱いについて

① 小売業の多言語対応ガイドライン

- ・ 発行元を、小売業の訪日ゲスト対応力向上協議会・日本小売業協会・ジャパンショッピングツーリズム協会とする。

（現状は、多言語対応協議会小売プロジェクトチーム・日本小売業協会・ジャパンショッピングツーリズム協会）

② 小売業の多言語対応公式ホームページ

- ・ 旧協議会名の削除などを行い、新協議会運営として、引き続き、日本小売業協会ウェブサイト内に設置する。
- ・ 必要に応じて、多言語対応のみならず、訪日ゲスト対応に必要な情報ができるように随時改善を行う。

(3) 収支管理について

- ① 旧協議会小売PTの収支残高2,140千円は、新協議会が引き継ぐものとする。
- ② 新協議会においても、旧協議会の方針に準じ、下記とする。

- ・ 運営経費は、小売業および協議会参加者の負担によって賄う。
 - ・ 予算、実績管理については、事務局が責任を負う。(下記③を追記)
 - ・ 収入が支出を賄えない場合は、事務局がそれを負担する。
 - ・ 収益が計上される場合には、これを翌年度に繰り越す。
- ③ 収支報告は、ジャパンショッピングツーリズム協会の会計報告と一括して行うものとする。

以上